



刈谷市中心市街地まちづくり基本計画

2018年度～2027年度

概要版



計画の目的

本市は、古くは刈谷城（城下町）を中心に、近年では刈谷駅と刈谷市駅の2つの鉄道駅を中心に発展してきたまちです。現在では、全国屈指のものづくり産業の拠点都市として、自動車関連企業の就業者をはじめ周辺市町からも多くの人々が訪れるまちとなっています。特に、刈谷駅は、1日あたり約95,000人が利用する衣浦定住自立圏の中心市の玄関口として、重要な都市拠点の役割を担っています。

今後も、刈谷駅や刈谷市駅周辺を含む中心市街地が、将来にわたり持続可能な発展を続けるため、各種事業を進める必要があります。

そこで「刈谷市まちなかマネジメント構想（2016（平成28）年度策定）」を踏まえ、中長期的な視点に立ったまちづくりに関する基本的な整備方針を示すことで、中心市街地のさらなる魅力と回遊性の向上、活気とにぎわいの創出を図ります。



中心市街地の特性

2つの鉄道駅を核に発展してきた 中心市街地

刈谷駅と刈谷市駅の2つの駅を核として発展してきた中心市街地は、時代の移り変わりとともに変化し、現在は、それぞれが異なる特性を有した地域を形成しています。



刈谷市駅から亀城公園までの一帯は、刈谷城とその城下町であったことから豊富な歴史的・文化的資源が見られ、今後、まちづくりを進める上でポテンシャルの高い地域です。



商業、公共公益施設が集積する 刈谷駅周辺

刈谷駅周辺は、商業・業務機能の集積が進むとともに、市役所や合同庁舎などの行政機関、総合文化センター、図書館・美術館などの文化・市民交流施設が集積する地区です。



時代の移り変わりの中で店舗が減少し、商店街の衰退が見られる一方、マンションなどの共同住宅が建設され、駅に近い、利便性の高い住宅地としても活用されています。

多彩な歴史的・文化的資源が集まる 刈谷市駅と亀城公園周辺

商業地から住宅地へ 変化してきた地域

歴史と未来が輝く 刈谷まちなかオアシス

1 引き寄せられるまち

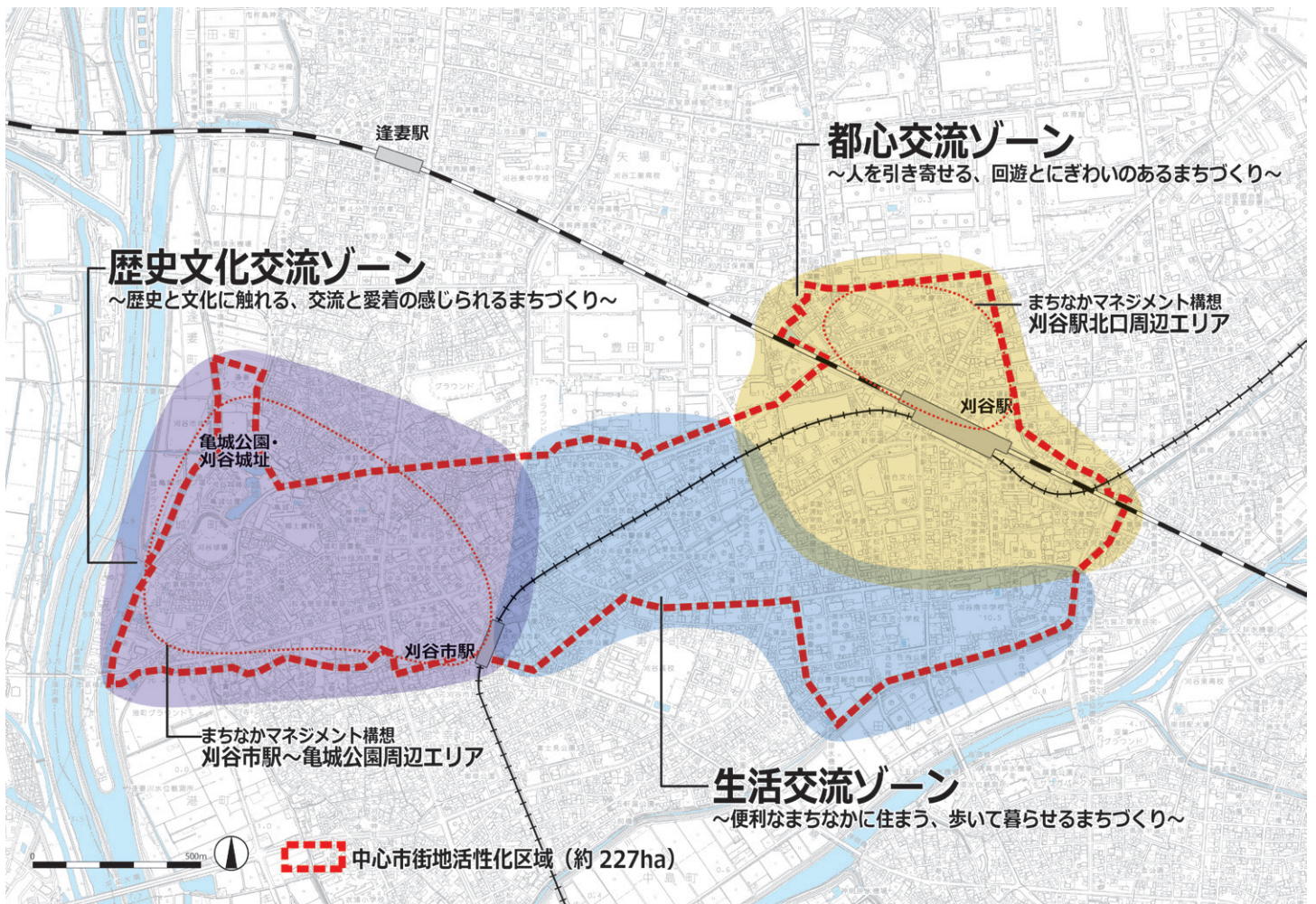
魅力的な活気とにぎわいがあり、市の「顔」にふさわしい洗練された都市施設を形成し、歩いて楽しい多くの人々が集うまち

2 便利さを享受できるまち

ゆとりと安らぎを感じられる住環境の形成と快適な暮らしを支える都市機能・生活機能が充実した、安心して暮らし続けられるまち

3 愛着を感じられるまち

貴重な歴史的資源に光をあて、それらを後世に受け継ぎ活用することにより、一層の魅力と親しみがあふれたまち



基本的な整備方針

1 都心交流 ゾーン

人を引き寄せる、
回遊とにぎわいのある
まちづくり

市の「顔」として、市内外に誇ることができる高次都市機能を備える駅前空間づくりを目指します。

また、地域住民、就業者、学生、来訪者の誰もが、集い、回遊しやすい活気とにぎわいのあるまちづくりを目指します。

2 生活交流 ゾーン

便利なまちなかに住もう、
歩いて暮らせる
まちづくり

2つの交通結節点をつなぎ、市内の循環とともに市外各所との交通利便性の高いまちづくりを目指します。

また、公共施設等の立地特性を生かして、歩いて暮らせるまちづくりを目指します。

3 歴史文化交流 ゾーン

歴史と文化に触れる、
交流と愛着の感じられる
まちづくり

刈谷の歴史・文化に触れる地域への「玄関口」として、市民や来訪者などにも優しい駅前空間づくりを目指します。

また、歴史に触れる楽しみや愛着、交流を育むことができる環境づくりを目指します。

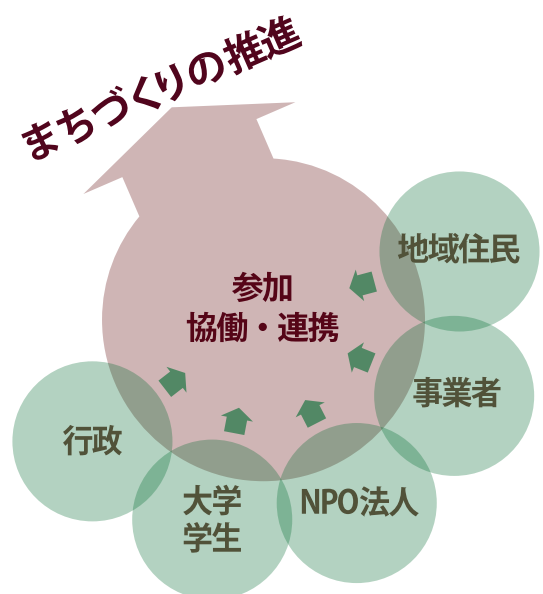
計画の推進に向けて

地域住民・事業者等の役割

- 地域に関心を寄せ、愛着を持ち、まちづくりの主角として率先して参画する意識を持ちましょう。
- 各主体がそれぞれ積極的にまちづくり活動に取り組み、より良い知恵を出し合うなど、まちづくりに関する情報交換の場や機会づくりに努めましょう。

市の役割

- 地域住民や事業者等の各主体がまちづくり活動に参加できる仕組みづくりを進めます。
- 各主体と連携し、公共空間で交流とにぎわいを創出する体制づくりを推進します。



都心交流ゾーン

1 安全で快適な歩行空間の形成

■刈谷駅南北連絡通路基本構想

安全で円滑な移動環境の確保と駅周辺の回遊性とアクセス利便性を向上させる歩行者デッキの整備を推進します。



■JR 刈谷駅ホーム等改修事業

駅ホームの拡幅とホームドアの設置等、安全で利用しやすい駅施設の形成を推進します。

2 魅力ある複合的な駅前空間と交流拠点施設の形成

■刈谷駅北地区整備事業

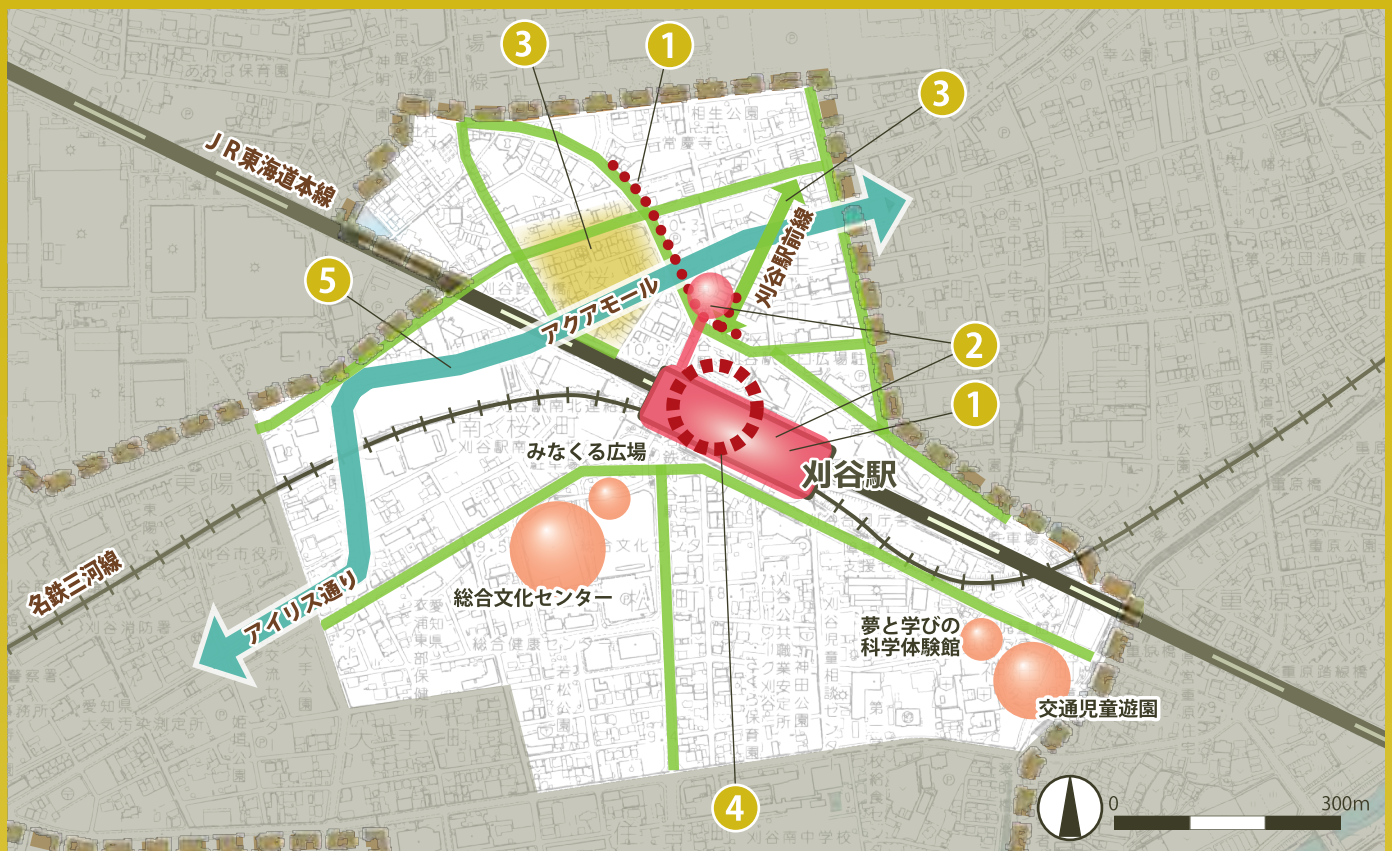
多彩な駅前機能の充実に図り、活気にぎわいの創出、まちなか居住を促進します。

■駅と一体となった交流拠点施設の充実

様々な都市の拠点機能が複合した施設の立地を、JR刈谷駅の駅施設改修と合わせて誘導するとともに、公共施設の配置計画を検討します。



刈谷駅北地区整備事業完成予想図



3 回遊性を高める歩行空間の形成とにぎわいの創出

■刈谷駅前線道路新設改良事業

■歩道等活用の検討

安心安全な歩行空間の確保及びまちづくり活動と一体となった新たなにぎわい空間の創出を図り、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを推進します。

■道路再整備の検討

境界性・回遊性を高める歩きやすいみちづくりを推進します。



刈谷駅北口シンボルロードのイメージ

4 利用しやすい交通結節機能の強化

■北口駅前広場の交通結節機能の強化

北口駅前広場のバス乗降場と待機場の増設や一般車両との動線分離による駅前空間の有効活用と新たな交通広場の確保の検討を行います。

■公共バスの広域利用の推進

■歩道整備事業

駅・駅前広場やその周辺街区を含めた一体的なアクセス利便性の強化を推進します。

5 やすらぎと心地よさを感じる憩い空間の活用

■アクアモール活用の検討

水辺と緑に触れ合える、やすらぎと心地よさを感じる憩いの空間として活用します。



アクアマールの水辺

1 アクセス便利で歩きやすい 歩行空間の形成

■刈谷環状線電線類地中化事業

■歩道整備事業

電線類地中化や歩道の段差等解消などバリアフリー化を進めるとともに、歩行者・自転車・自動車の通行の分離を図ることで、誰もが歩きやすい歩行空間の形成を推進します。



刈谷環状線の整備イメージ

2 ものづくりの技術や文化を 発信する拠点機能の発掘

■産業観光資源の発掘・創造の検討

自動車関連産業の地域資源を生かすとともに、ものづくりのまちとしての情報発信の推進、新たな地域資源の発掘や創造する仕組みづくりを検討します。



トヨタ A1 型 試作第 1 号車のおはらい風景

トヨタ産業技術記念館提供



3 緑豊かなまちなみ景観の形成

■アイリス通り活用の検討

くつろぎ・楽しみながらまちなみ散策ができる水辺と緑に触れ合える空間の創出を図ります。

■公共空間の緑化推進

樹木や草花の適切な維持管理や植栽を行い、緑豊かなまちなみ景観の形成を進めます。



アイリス通り



中央図書館

3 歴史文化交流ゾーン

1 誇りと愛着を育む歴史・文化拠点の形成

■ 亀城公園再整備事業

市民の誇りと愛着を育む新たなシンボルづくりを推進します。

■ 歴史博物館の活用

歴史と伝統文化を楽しみながら学び、次世代へ継承する拠点づくりを推進します。

■ 亀城公園周辺公共施設再配置の検討

刈谷ならではの個性豊かなにぎわいの空間づくりを検討します。



2 城下町の風情を感じられるまちなみの形成

■ まちなみ景観形成・道路再整備の検討

■ 城町図書館施設用途の検討

■ 歴史的建造物の保存・活用

3 活気とにぎわいのある駅前交流空間の創出

■ 銀座A B地区整備事業

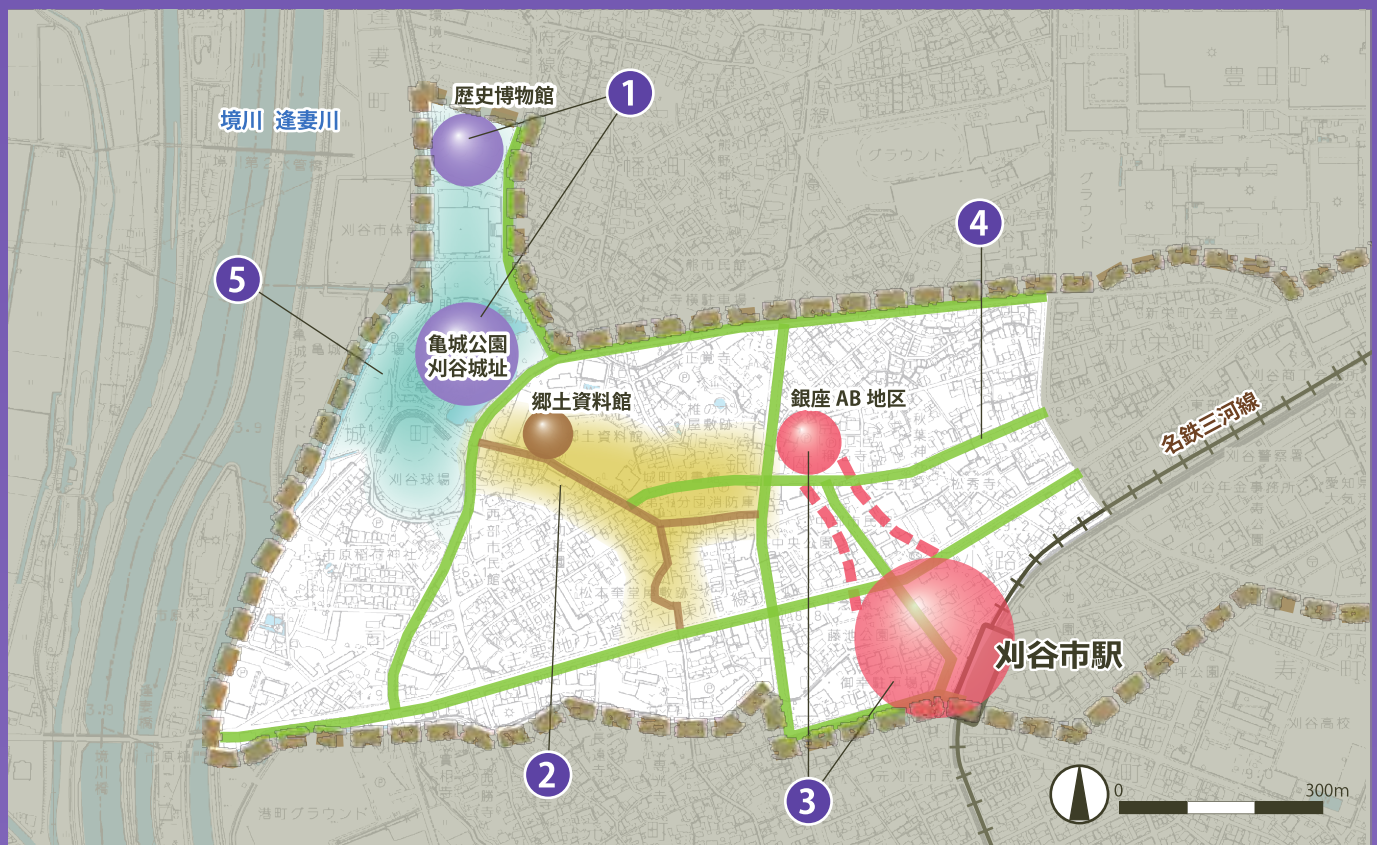
商業、住宅、保育所、高齢者向け施設等の複合施設を整備します。

■ 刈谷市駅前市街地再開発の検討

市街地再開発等による都市基盤の再生・整備を推進します。

■ 駅前広場整備の検討

活気とにぎわいを感じることができる駅前空間の創出を推進します。



4 駅や歴史・文化拠点をつなぐ回遊ネットワークの形成

■ 道路新設改良事業

伝統文化を感じることができる回遊性や交流性を高めるみちづくりを推進します。

■ 電線類地中化事業 ■ 歩道整備事業

歩きやすい歩行空間の形成を推進し、回遊ネットワークの強化を図ります。



5 水辺と緑を感じるやすらぎ空間の保全・活用

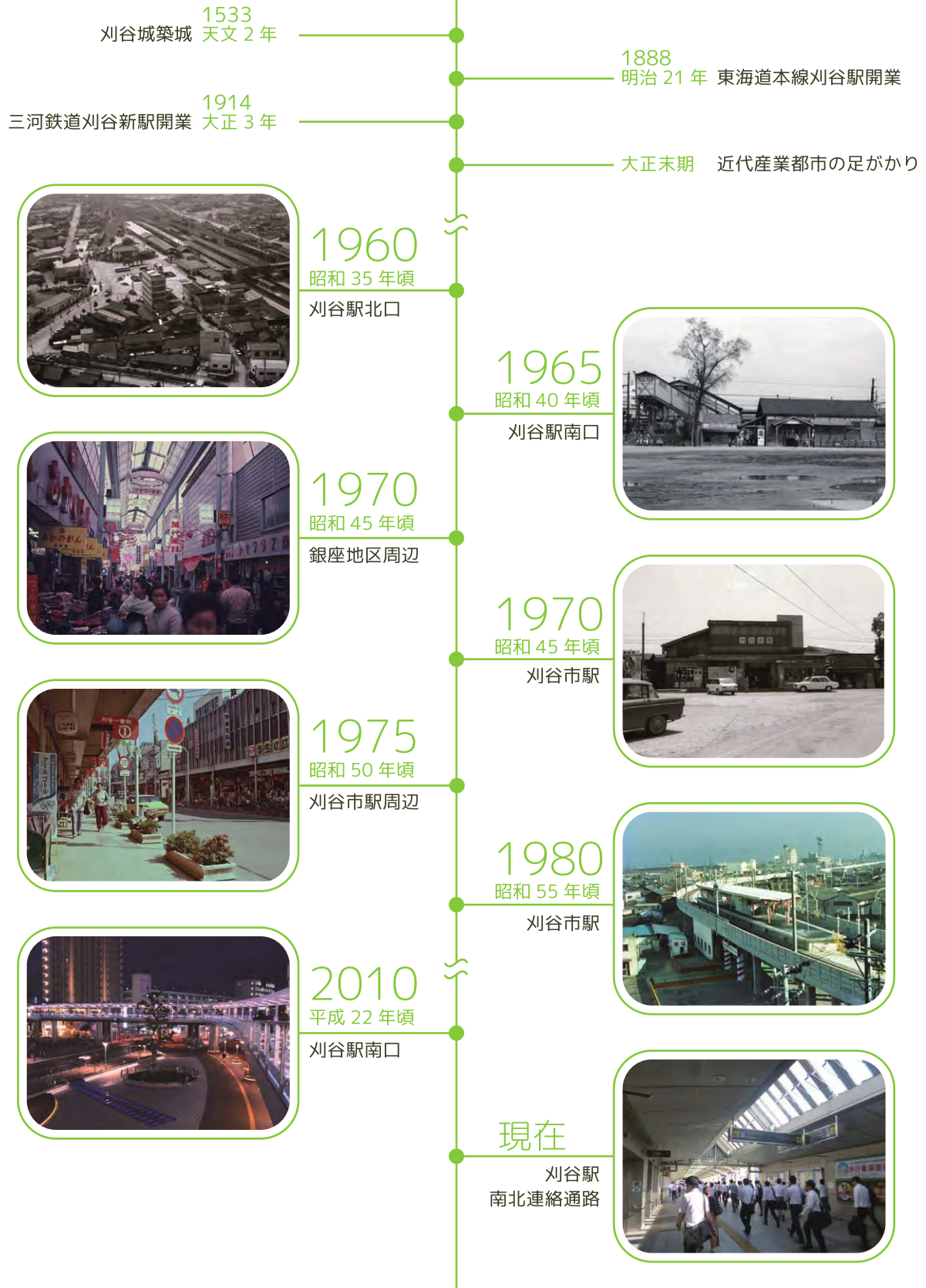
■ 良好な自然的景観の維持・保全

風致地区の保全など、自然的景観の維持、形成に努めます。

■ 公共空間の緑化推進

気軽にまちなみ散策ができるやすらぎ空間を形成します。

中心市街地のあゆみ(風景)



刈谷市中心市街地まちづくり基本計画（概要版）

発行 | 2018 年 6 月

発行者 | 刈谷市

編集 | 都市政策部まちづくり推進課

〒448-8501 刈谷市東陽町 1 丁目 1 番地

【TEL】 0566-62-1022 【FAX】 0566-23-9331 【E-mail】 machi@city.kariya.lg.jp